

05

戦略

都市基盤・建設

まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり

基本
計画

- ① 快適な住宅・住環境づくり
- ② 地域公共交通ネットワークの充実
- ③ 道路の整備と交通の安全確保
- ④ 公園と歩道空間の整備
- ⑤ 未来型復興による魅力的なまちづくり

1

快適な住宅・住環境づくり



施策の方向

豪雨災害からの復興と防災・減災、快適な生活を目指し、市街地の形成と居住の誘導、拠点を適正にするために医療、福祉等の都市機能の誘導・向上を図り、持続可能な住環境の確保に努めます。

民間住宅については、昭和56年5月31日以前に建築確認を受けた戸建木造住宅を中心に、大規模地震に対する耐震性を向上させるための改修等を促進することで、安全で安心な住環境づくりを進めます。

空き家対策については、取組に関する情報を市民に広く周知し、空き家の適正な管理を促すこととします。特に豪雨災害で被災した空き家については、速やかに所有者を特定し、適正な管理を促します。また、周辺に悪影響を及ぼす管理不全な空き家に対しては改善助言を行い、改善不能なものについては除却を促進することで、市民の安心・安全な暮らしを確保します。

成果指標（KPI）

成果指標	実績値 (令和5年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
民間住宅耐震改修等累計件数	18件	△	38件
市営住宅の用途廃止予定戸数*	0戸	△	121戸
老朽危険空き家の除却支援累計件数	2件	△	25件

主要な事務事業

- (1) 戸建木造住宅耐震改修等事業
- (2) 市営住宅ストック総合改善事業
- (3) 市営住宅管理事業
- (4) 空き家対策事業
- (5) 木造仮設利活用事業

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まさに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(1)快適な住宅・住環境づくり		

事務事業名	戸建木造住宅耐震改修等事業	担当課	住宅政策課
事務事業概要	昭和56年5月31日以前に建築確認を受けた戸建木造住宅を対象に、耐震診断および耐震改修を行う経費に対し、費用の一部を補助する事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	戸建木造住宅耐震改修等事業	

事務事業実績				
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度
		実績値		目標値
民間住宅耐震改修等件数	38件	18件		23件
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額
	国庫補助金	503	千円	3,470 千円
	県補助金	0	千円	0 千円
	起債	0	千円	0 千円
	その他	0	千円	0 千円
	一般財源	503	千円	4,640 千円
	事業費	1,006	千円	8,110 千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果) 令和5年度は、耐震改修等の普及啓発のためのリーフレット郵送業務(3,291件)を実施した。また、耐震診断事業を1件、危険ブロック塀等撤去・新設を1件実施し大規模な地震発生時の建物倒壊やブロック塀等の倒壊による避難路の封鎖の恐れを一部改善することができた。		
	(今後の課題) 耐震改修等に関心を持っていただくことが必要。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	引き続き、普及啓発のためのリーフレット郵送業務を実施する。また、補助対象となる住宅の拡充を検討及び、復興基金を活用した補助金の拡大も併せて検討する。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 拡大 人員 現状維持

改善

方向性

実施計画						
成果指標		令和7年度		令和8年度		令和9年度
		目標値		目標値		目標値
民間住宅耐震改修等件数		28件		33件		38件
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額
	国庫補助金	3,470	千円	3,470	千円	3,470 千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0 千円
	起債	0	千円	0	千円	0 千円
	その他	0	千円	0	千円	0 千円
	一般財源	4,640	千円	4,640	千円	4,640 千円
事業費	8,110	千円	8,110	千円	8,110 千円	

総合戦略	災害に強く安心して暮らせる地域の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まさに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(1)快適な住宅・住環境づくり		

事務事業名	市営住宅ストック総合改善事業	担当課	住宅政策課
事務事業概要	既設の市営住宅について、計画的な改善等を総合的に推進することにより、市営住宅ストックの居住水準の向上と総合的な活用を行う事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	長寿化型改善事業	既存
	既存	居住性向上型改善事業	安全性確保型改善事業

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
用途廃止予定戸数	121戸	0戸		23戸	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	16,313	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	5,200	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	14,740	千円	0	千円
	事業費	36,253	千円	0	千円

評価

事務事業評価					
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果) 市営住宅の多くは建築後30年以上経過しており、外壁や給水設備等が老朽化している状況がある。各団地の改修工事を行ったことにより、市営住宅の快適な居住環境の整備と、安全性・長寿化を図ることができた。				
	(今後の課題) 人口・世帯減少が進む中、公営住宅の適正ストック数の設定によって、適切に管理していく必要がある。また、公営住宅の入居者は、高齢者がいる世帯数が5割を超えており、今後も高齢化が進行することが予測されることから、高齢者に対応した住戸・住環境の整備・改善を図る必要がある。 年々老朽化が進んでいる状況であり、快適な住環境の維持に努める必要がある。				
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	公営住宅の適正ストック数の設定により、それを適切に管理していくため、公営住宅の用途廃止を目的とした入居者の移転・公営住宅の集約化をおこなっていく。	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

改善

方向性

実施計画						
成果指標	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	目標値		目標値		目標値	
用途廃止予定戸数	50戸		80戸		121戸(鹿・荒宅・東向末田・三日月原・旧相良・一二三ヶ迫2号棟・蟹作2号棟)	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額
	国庫補助金	34,650	千円	50,994	千円	42,354
	県補助金	0	千円	0	千円	0
	起債	40,350	千円	58,326	千円	48,766
	その他	0	千円	0	千円	0
	一般財源	2,000	千円	4,000	千円	3,000
事業費	77,000	千円	113,320	千円	94,120	千円

総合戦略	該当なし
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(1)快適な住宅・住環境づくり		

事務事業名	市営住宅管理事業	担当課	住宅政策課
事務事業概要	市営住宅への入退去の手続き、家賃の収納・滞納整理および内装・設備の維持修繕等を行う事業		
主な取組内容 Plan	既存	市営住宅修繕業務	既存 市営住宅 入退去業務
	既存	市営住宅家賃 滞納整理業務	新規 移転費等助成事業

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
市営住宅の用途廃止予定戸数	121戸	0戸		23戸	
事業財源 Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	268	千円	1,611	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	51,123	千円	53,248	千円
	一般財源	0	千円	0	千円
	事業費	51,391	千円	54,859	千円

評価

事務事業評価				
成果・課題 Check	(取組成果)			
	市営住宅は、令和6年4月現在で1,247戸を管理しているが、建築後30年以上経過したものが多く、年々老朽化が進んでいる状況であり、快適な住環境の維持に努める必要がある。市営住宅の入退去に伴い、住戸の修繕を行うと共に、共同施設等の保守・点検・管理を適切に行うことによって、住みやすい居住環境を提供・維持することができた。			
改善内容 Action	(今後の課題)			
	民間賃貸住宅に入居できない高齢者が、市営住宅への入居を希望するケースが増えてきているが、空室の多くは4,5階の高層階であること。また、家賃の長期滞納者対策について早期の対応が必要であること。			
改善内容 Action	令和7年4月から一般募集を開始する木造仮設利活用住宅について、入居を希望する高齢者用の住宅として有効活用する。また、悪質な長期滞納者について、強制退去などの法的措置を進めていく。	事業の方向性	資源配分	
		現状維持	財源	現状維持
			人員	現状維持

改善

方向性

実施計画							
成果指標	令和7年度		令和8年度		令和9年度		
	目標値		目標値		目標値		
市営住宅の用途廃止予定戸数	50戸		80戸		121戸(鹿・荒宅・東向木田・三日月原・旧相良・一二三ヶ迫2号棟・蟹作2号棟)		
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	984	千円	984	千円	984	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	66,044	千円	38,471	千円	38,471	千円
	一般財源	0	千円	0	千円	0	千円
事業費	67,028	千円	39,455	千円	39,455	千円	

総合戦略	該当なし
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まさに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(1)快適な住宅・住環境づくり		

事務事業名	空き家対策事業	担当課	地域コミュニティ課
事務事業概要	倒壊等の事故、火災および犯罪の発生のある老朽危険空き家等の除却を促進するために、除却工事を行う者に対し補助金を交付し、市民の安全かつ良好な生活環境の保全を図る事業 また特定空き家等に認定され、改善が見られない場合には、行政(略式)代執行を行う事業		
主な取組内容 Plan	既存	老朽危険空き家等除却促進事業	既存
	既存	行政(略式)代執行	空き家等実態調査業務委託

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
老朽危険空き家の除却支援累計件数	25件	2件		7件	
事業財源 Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	1,026	千円	1,229	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	3,640	千円	3,537	千円
事業費	4,666	千円	4,766	千円	

評価

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果) 令和3年度に市内全域の空き家実態調査(件数、分布状況、目視による不良度判定等)を実施しており、空き家情報の把握に努めている。住民からの通報等により、空家特措法に基づき所有者を把握し、場合によっては老朽危険空き家等除却促進事業や空き家バンク等の紹介を行うなど適正管理の依頼を行っている。 令和5年度には所有者不在の特定空き家の略式代執行を実施した。		
	(今後の課題) 今後、少子高齢化、人口減少の進行により、空き家のさらなる増加が見込まれる。所有者による適正管理の徹底、補助事業の活用による除却の促進、利活用の推進など、総合的に対策を講じる必要がある。令和3年度に市内全域の空き家実態調査(件数、分布状況、目視による不良度判定等)を実施しており、本市の空き家対策の基礎資料とするため、今後も概ね5年ごとに実態調査を行う。		
改善内容 Action	<ul style="list-style-type: none"> 所有者による適正管理の徹底および意識啓発を図る。 有利な補助制度等の活用を図る。 移住定住政策部門との連携を図る。 	事業の方向性	資源配分
		拡大	財源 拡大 人員 現状維持

改善

方向性

実施計画						
成果指標	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	目標値		目標値		目標値	
老朽危険空き家の除却支援累計件数	12件		17件		25件	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額
	国庫補助金	750	千円	1,500	千円	1,500
	県補助金	0	千円	0	千円	0
	起債	0	千円	0	千円	0
	その他	0	千円	0	千円	0
	一般財源	1,434	千円	10,184	千円	2,184
事業費	2,184	千円	11,684	千円	3,684	千円

総合戦略	地方移住の推進	
	仕事と子育ての両立	
	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	該当なし	

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まさに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(1)快適な住宅・住環境づくり		

事務事業名	木造仮設利活用事業	担当課	住宅政策課
事務事業概要	令和2年7月豪雨災害で被災した世帯のうち、自力で住宅再建が困難な方に対して、木造仮設住宅の一部を市営住宅として整備し住まいを提供するもの。		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	木造仮設利活用事業	

事務事業実績				
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度
		実績値		目標値
市営住宅の用途廃止予定戸数	121戸	0戸		23戸
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額
	国庫補助金	110,070	千円	102,983 千円
	県補助金	0	千円	0 千円
	起債	0	千円	0 千円
	その他	0	千円	0 千円
	一般財源	134,544	千円	125,874 千円
事業費	244,614	千円	228,857 千円	

評価

事務事業評価					
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果) 令和5～6年度にかけて、利活用する6団地の敷地整備工事測量設計業務を実施した。また、令和6年度に木造仮設利活用住宅改修工事(145戸)を実施し、令和2年7月豪雨災害で被災し、自力で住まい再建が困難な被災者の住まいの確保ができた。				
	(今後の課題) 利活用する6団地について、敷地整備工事を実施し建築基準法及び都市計画法に適合する施設とする必要があるが、入居者の安全を確保しつつ工事を行う必要があるため、工事の施工計画(工事範囲や発注時期等)を十分検討する必要がある。				
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	施工計画や設計の精査に時間を要するが、期間内に目標が達成できるよう計画的に事業に取り組む。	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

改善

方向性

実施計画					
成果指標		令和7年度		令和8年度	令和9年度
		目標値		目標値	目標値
市営住宅の用途廃止予定戸数		50戸		80戸	121戸(麓・荒毛・東間米山・三日原・旧相良・一二三ヶ迫2号棟・蟹状2号棟)
事業財源	費目	予算額		予算額	
	国庫補助金	63,000	千円	29,250 千円	24,750 千円
	県補助金	0	千円	0 千円	0 千円
	起債	0	千円	0 千円	0 千円
	その他	0	千円	0 千円	0 千円
	一般財源	77,000	千円	35,750 千円	30,250 千円
事業費	140,000	千円	65,000 千円	55,000 千円	

総合戦略	災害に強く安心して暮らせる地域の形成
市長マニフェスト	建設型応急住宅を改修し、市単独住宅へ早期に移行します。

2

地域公共交通ネットワークの充実



施策の方向

本市の地域公共交通のマスタープランとなる「人吉市地域公共交通計画」に基づき、誰もが暮らしやすい都市の実現、希望ある復興を支える基盤として、地域の実情に応じた適切な地域公共交通の検討・導入による交通空白地の解消、市民の生活利便性確保、さらには観光客等をはじめとする来訪者の移動環境の向上を目指します。

くま川鉄道においては、「くま川鉄道に係る長期的な運行の確保に関する計画」に基づく営業の改善や事業継続に向けた取組に対して、沿線自治体が一体となって支援を継続していきます。

人吉市立地適正化計画に基づき都市計画と公共交通の一体化を目指すことで、居住や都市の生活を支える機能の誘導によるコンパクトなまちづくりと、公共交通の再編等との連携を進め、持続可能な交通社会の実現を目指します。

成果指標 (KPI)

成果指標	実績値 (令和5年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
地方バス路線維持・支援事業 (年間走行キロあたり利用者数)	0.13人/km	△	0.15人/km
コミュニティ交通(まめバス、乗合タクシー) の年間利用者数	17,714人	◎	13,000人 以上
交通空白地の解消	2地区	○	0地区

主要な事務事業

- (1) 路線バス・地域内交通(まめバス、予約型乗合タクシー等)の路線見直し・再編事業
- (2) 地域公共交通のサービス強化による利用促進事業
- (3) くま川鉄道鉄道施設等維持管理事業

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(2)地域公共交通ネットワークの充実		

事務事業名	路線バス・地域内交通(まめバス、予約型乗合タクシー等)の路線見直し・再編事業	担当課	交通政策課
事務事業概要	利便性と効率性を考慮し、地域の実情に適した公共交通網の再編を図っていく事業		
主な取組内容 <small>Plan</small>	既存	人吉市公共交通会議	

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度実績値		令和6年度目標値	
		地方バス路線維持・支援事業	0.15人/km	0.13人/km	
コミュニティ交通(まめバス、乗合タクシー)の年間利用者数の増加	13,000人以上	17,714人		20,000人	
交通空白地の解消	0地区	2地区		2地区	
事業財源	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	3,445	千円	4,658	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	74,976	千円	87,643	千円
	事業費	78,421	千円	92,301	千円

評価

事務事業評価					
成果・課題 <small>Check</small>	(取組成果) 交通空白地となっていた矢岳地区において令和6年2月から乗合タクシーの実証実験を開始。また、住民からの要望等により乗台停留所の増設を行った。				
	(今後の課題) 実証実験中の矢岳線の利用数が低い。また、依然として永野地区、大畑地区の一部が交通空白地となっているため解消策の検討が必要。				
改善内容 <small>Action</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・隔曜日運行を毎日運行に切り替え ・乗り方教室の実施 	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	拡大				

改善

方向性

実施計画							
成果指標	令和7年度目標値		令和8年度目標値		令和9年度目標値		
	地方バス路線維持・支援事業	0.15人/km		0.15人/km		0.15人/km	
コミュニティ交通(まめバス、乗合タクシー)の年間利用者数の増加	20,000人		20,000人		20,000人		
交通空白地の解消	2地区		1地区		0地区		
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	3,445	千円	3,445	千円	3,445	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	96,598	千円	96,598	千円	96,598	千円
	事業費	100,043	千円	100,043	千円	100,043	千円

総合戦略	地方移住の推進	
	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	公共交通改革を進め高齢者等の移動手段の確保を図ります。	

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まさに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(2)地域公共交通ネットワークの充実		

事務事業名	地域公共交通のサービス強化による利用促進事業	担当課	交通政策課
事務事業概要	市民のみならず、観光客等も利用できるよう、市内の地域公共交通に関する情報、さらには観光施設や宿泊施設等も一緒になったわかりやすく便利な地域公共交通マップの作成や、既存ホームページ等においても一元的な情報提供を実施する事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	人吉市公共交通会議	

事務事業実績						
成果指標	目標値	令和5年度 実績値		令和6年度 目標値		
		地方バス路線維持・支援事業	0.15人/km	0.13人/km		0.15人/km
事業財源	Do	決算額		予算額		
		国庫補助金	0	千円	0	千円
		県補助金	0	千円	0	千円
		起債	0	千円	0	千円
		その他	0	千円	0	千円
		一般財源	0	千円	0	千円
		事業費	0	千円	0	千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)		
	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年2月から乗合タクシー(矢岳線)の実証運行を開始し、利用環境の充実、サービス強化につながった。 人吉市公式LINEに公共交通のメニューを掲載し、情報取得環境の充実、更に乗合タクシーの予約を追加。 		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)		
	紙媒体によるマップの作成を予定していたが、情報更新の容易さや広く情報発信することが重要であるので、デジタル化に取り組む必要がある		
	<ul style="list-style-type: none"> LINE等の活用 GISを活用したマップの作成 	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

改善

方向性

実施計画								
成果指標	令和7年度 目標値	令和8年度 目標値		令和9年度 目標値				
		地方バス路線維持・支援事業	0.15人/km	0.15人/km		0.15人/km		
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額		
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
		県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
		起債	0	千円	0	千円	0	千円
		その他	0	千円	0	千円	0	千円
		一般財源	0	千円	0	千円	0	千円
	事業費	0	千円	0	千円	0	千円	

総合戦略	地方移住の推進	
	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	公共交通改革を進め高齢者等の移手段の確保を図ります。	

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まさに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(2)地域公共交通ネットワークの充実		

事務事業名	くま川鉄道鉄道施設等維持管理事業		担当課	交通政策課
事務事業概要	開業以来30数年が経過していることから、中長期的に線路設備、電気設備、駅設備等を定期的な保守管理の中で補修を実施し、安全運行管理につなげていく事業			
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	取締役会	既存	人吉・球磨地域公共交通活性化協議会
	既存	くま川鉄道再生協議会		

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
交通空白地の解消	0地区	2地区		2地区	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	3,169	千円	3,260	千円
	一般財源	27,218	千円	32,305	千円
	事業費	30,387	千円	35,565	千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)		
	施設等整備に係る費用を沿線自治体が担う(経営安定化補助金)ことにより、定期的、安定的な保守が実現し、くま川鉄道の安全運行につながった。 くま川鉄道再生協議会において、災害復旧にあわせて上下分離方式へ移行するために(一社)くま川鉄道管理機構の構築を進めている。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)		
	上下分離により軌道、駅舎などの鉄道施設の保有が(一社)くま川鉄道管理機構が保有することになり、その適正な管理体制及び自治体負担割合の検討が必要。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	管理機構の組織体制の構築、負担割合の決定	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 人員 現状維持

改善

方向性

実施計画							
成果指標		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		目標値		目標値		目標値	
交通空白地の解消		2地区		1地区		0地区	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	3,927	千円	3,927	千円	3,927	千円
	一般財源	73,174	千円	73,174	千円	73,174	千円
	事業費	77,101	千円	77,101	千円	77,101	千円

総合戦略	地方移住の推進	
	魅力的な生活圏の形成	
市長マニフェスト	人吉球磨、沿線自治体一体となつたくま川鉄道とJR肥薩線の復活を目指します。	

3

道路の整備と交通の安全確保



施策の方向

被災市街地復興推進地域の指定を受けた青井地区の国道445号の整備については、復興事業として、住環境やにぎわいの創出といった土地区画整理事業の手法を取り入れる面的整備と合わせて、改良を促進します。また、国道445号の整備によって青井地区に集中する交通の緩和を目的に、市街地各所からの交通を内環状線に誘導するため、内環状の主要幹線道路である都市計画道路下林柳瀬線等の改良整備に取り組みます。他の都市計画道路についても、円滑な交通機能の発揮に加え、市街地形成、防災機能、さらには景観形成など多くの機能が求められていることから、路線を取り巻く背景や整備の実現性も含め見直しを行います。

その他復興関連事業としては、豪雨災害後のまちづくり懇談会等で出された意見や露呈した避難環境の課題等を踏まえ、避難路等の整備計画を取りまとめの上、随時整備に取り組むとともに、「防災」、「安全・円滑な交通確保」、「良好な景観の形成」等の観点から必要な道路において無電柱化を推進します。

また、復旧・復興事業への傾注のため、遅れていた市民生活に身近な道路、橋りょうの傷みや老朽化についても、適切に取り組み交通利便性の向上と市民生活の安全、安心の確保に努めます。

成果指標（KPI）

成果指標	実績値 (令和5年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
都市計画道路事業進捗状況（改良率）	48.5%	◎	48.5%（※①）
橋りょう補修整備事業進捗状況	1橋／9橋	△	7橋／9橋（※②）
避難路整備事業進捗状況（改良率）	0%	△	18.5%（※③）

（※①）18.0km／37.1km

（※②）市道橋291橋のうち橋梁点検において健全度の判定区分がⅢおよびⅣと判定された補修が必要な橋梁9橋を対象

（※③）2.5km／13.5km R5 測量設計業務、R6 より着工予定

主要な事務事業

- (1) 都市計画道路事業
- (2) 橋りょう補修整備事業
- (3) 道路維持修繕事業
- (4) 道路新設改良事業
- (5) 国道道整備促進事業
- (6) 避難路整備事業

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まさに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(3)道路の整備と交通の安全確保		

事務事業名	都市計画道路事業	担当課	都市計画課	
事務事業概要	市街地復興における交通体系の確立のための内環状線の整備、交通混雑の解消、歩行者の安全通行の確保と外環状線の整備を推進する事業			
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	新規	都市計画道路下林柳瀬線事業		

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
都市計画道路事業進捗状況(改良率)	48.5%	48.5%		48.5%	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	18,513	千円	8,498	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	14,487	千円	6,650	千円
事業費	33,000	千円	15,148	千円	

評価

事務事業評価						
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)					
	平成24年度から事業を開始した都市計画道路下林願成寺線の事業区間の整備が完了し、全体整備率が上がった。					
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)					
	令和5年度から事業を開始する都市計画道路下林柳瀬線は、青井地区土地区画整理事業や、国道445号事業等関係する各種事業と連携を取りながら進めていく。					
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	各種事業と連携を取りながら進めていく。	事業の方向性	資源配分			
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持	人員
財源	現状維持					
人員	現状維持					

改善

方向性

実施計画							
成果指標	令和7年度		令和8年度		令和9年度		
	目標値		目標値		目標値		
都市計画道路事業進捗状況(改良率)	48.5%		48.5%		48.5%		
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	57,783	千円	89,760	千円	129,030	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	45,217	千円	70,240	千円	100,970	千円
事業費	103,000	千円	160,000	千円	230,000	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まちに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(3)道路の整備と交通の安全確保		

事務事業名	橋りょう補修整備事業	担当課	道路河川課
事務事業概要	人吉市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、地域生活に密着した橋りょうの点検を実施し、計画的に補強補修することで、重要構造物の保全を図り、地域住民の快適かつ安全安心な生活環境を確保する事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	人吉市橋梁長寿命化修繕計画更新作業	既存
	既存	橋梁補修整備事業	橋梁点検業務

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度 実績値		令和6年度 目標値	
		橋梁補修整備	7橋／9橋	1橋／9橋	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	44,245	千円	75,837	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	39,800	千円	68,200	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	4,445	千円	7,637	千円
	事業費	88,490	千円	151,674	千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果) 令和5年度に羽田橋の橋梁補修工事を完了させることができた。 令和6年度に上の寺橋の橋梁補修工事を完了させることができた。 また、令和6年度中の上原田橋の橋梁補修工事の完了を目指す。		
	(今後の課題) 引き続き、橋梁補修工事に取り組む。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	高度経済成長期に架設された橋梁の多くが今後、同時期に老朽化を迎えることから計画的に補修工事を行っていく必要がある。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 人員 現状維持 現状維持

改善

方向性

実施計画							
成果指標	令和7年度 目標値		令和8年度 目標値		令和9年度 目標値		
	橋梁補修整備	4橋／9橋		5橋／9橋		7橋／9橋	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	30,000	千円	30,000	千円	30,000	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	27,000	千円	27,000	千円	27,000	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	3,000	千円	3,000	千円	3,000	千円
事業費	60,000	千円	60,000	千円	60,000	千円	

総合戦略	該当なし
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まさに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(3)道路の整備と交通の安全確保		

事務事業名	道路維持修繕事業	担当課	道路河川課
事務事業概要	道路を良好な状態に維持するために、道路パトロール、路面・安全施設・側溝等の点検・補修を実施する事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	舗装修繕工事(社交金)	既存 道路維持管理業務委託
	既存	維持修繕工事(単独)	既存 道路維持補修(直営)

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
都市計画道路事業進捗状況(改良率)	48.5%	48.5%		48.5%	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	13,970	千円	20,269	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	12,500	千円	18,200	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	1,470	千円	2,070	千円
	事業費	27,940	千円	40,539	千円

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果) 舗装維持補修工事により舗装の更新を行うことができた。		
	(今後の課題) 社会資本整備総合交付金の内示率の低下により計画的な舗装補修工事の実施が難しい。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	引き続き、舗装修繕工事を行っていく。	事業の方向性	資源配分
		拡大	財源 拡大 人員 現状維持

改善

方向性

実施計画							
成果指標		令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		目標値		目標値		目標値	
都市計画道路事業進捗状況(改良率)		48.5%		48.5%		48.5%	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	50,000	千円	50,000	千円	50,000	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	45,000	千円	45,000	千円	45,000	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	5,000	千円	5,000	千円	5,000	千円
	事業費	100,000	千円	100,000	千円	100,000	千円

総合戦略	該当なし
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まさに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(3)道路の整備と交通の安全確保		

事務事業名	道路新設改良事業	担当課	道路河川課
事務事業概要	交通利用状況に合わせた通学路等の安全対策や老朽化対策など、市民生活の根幹となる道路整備として、新設改良、離合箇所、側溝改修・整備、法面対策を行う事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	人吉復興まちづくり計画	

事務事業実績				
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度
		実績値		目標値
避難路整備事業進捗状況(改良率)	18.5%	0%		0.84%
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額
	国庫補助金(P85)	9,879	千円	41,310 千円
	国庫補助金(P110)	10,746	千円	6,030 千円
	起債	0	千円	0 千円
	その他	0	千円	0 千円
	一般財源	17,901	千円	44,909 千円
	事業費	38,526	千円	92,249 千円

評価

事務事業評価											
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果) 道路幅を上げたり、新しく歩道を設置したことにより、道路の機能向上し、快適・安全に、車や歩行者等が通行できるようになった。										
	(今後の課題) 用地取得については、地権者との合意形成が必要になるため、用地取得に難航している。										
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	地権者に事業の必要性を理解していただくように戸別訪問を繰り返す行う。		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>事業の方向性</th> <th colspan="2">資源配分</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">現状維持</td> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	事業の方向性	資源配分		現状維持	財源	現状維持	人員	現状維持
	事業の方向性	資源配分									
現状維持	財源	現状維持									
	人員	現状維持									

改善

方向性

実施計画						
成果指標	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
	目標値		目標値		目標値	
避難路整備事業進捗状況(改良率)	7.17%		11.25%		18.5%	
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額
	国庫補助金	94,350	千円	33,150	千円	17,850 千円
	県補助金	22,440	千円	35,343	千円	42,075 千円
	起債	0	千円	0	千円	0 千円
	その他	0	千円	0	千円	0 千円
	一般財源	108,210	千円	59,507	千円	50,075 千円
事業費	225,000	千円	128,000	千円	110,000 千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まさに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(3)道路の整備と交通の安全確保		

事務事業名	国県道整備促進事業	担当課	道路河川課
事務事業概要	地域間交流の活性化や経済発展に欠かせない広域幹線道路である国県道について、街並みや景観に配慮した整備を促進するための事業		
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	人吉復興まちづくり計画	

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
避難路整備事業進捗状況(改良率)	18.5%	0%		0.84%	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	21,900	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	203,100	千円	500,000	千円
	事業費	225,000	千円	500,000	千円

評価

事務事業評価							
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)						
	人吉市から熊本県に土木所管事業要望書(総合優先順位表)を提出している。熊本県による国・県道の整備(国道445号、県道上漆田東間下線等)を実施。また、県管理河川(福川等)の浚渫も実施している。						
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)						
	国道219号、国道267号については歩道が整備されておらず、安全な通行が確保できないため、歩道整備の要望が上がっている。また、令和2年7月豪雨災害以降、県管理河川である山田川、万江川、福川等の河川未改修により排水不良がおきる可能性があるため、流域住民からの河川改修等の要望が強くなってきている。						
	<ul style="list-style-type: none"> 県管理河川の浚渫だけでなく河川改修も要望する。 市民の要望等について検討を行い総合優先順位を決めていく。 	事業の方向性	資源配分				
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持	人員	現状維持
財源	現状維持						
人員	現状維持						

改善

方向性

実施計画							
成果指標	目標値	令和7年度		令和8年度		令和9年度	
		目標値		目標値		目標値	
避難路整備事業進捗状況(改良率)	7.17%	11.25%		18.5%			
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	500,000	千円	500,000	千円	500,000	千円
	事業費	500,000	千円	500,000	千円	500,000	千円

総合戦略	該当なし
市長マニフェスト	豪雨災害の経験等を生かした早期避難対策として、避難路、避難場所等の整備、拡充を進めます。

戦略名	戦略5	都市基盤・建設	まさに愛着を持ち、景観を醸し出す都市基盤づくり
施策項目	(3)道路の整備と交通の安全確保		

事務事業名	避難路整備事業	担当課	道路河川課	
事務事業概要	豪雨災害を踏まえ、災害時においてリードタイム(避難時間帯)に安全な避難場所へ円滑な避難が可能となるよう道路改良事業等により避難路の整備・強化を促進する事業			
主な取組内容 <input type="checkbox"/> Plan	既存	人吉復興まちづくり計画		

事務事業実績					
成果指標	目標値	令和5年度		令和6年度	
		実績値		目標値	
避難路整備事業進捗状況(改良率)	18.5%	0%		0.84%	
事業財源 <input type="checkbox"/> Do	費目	決算額		予算額	
	国庫補助金	130,750	千円	48,252	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	130,750	千円	48,253	千円
事業費	261,500	千円	96,505	千円	

評価

事務事業評価			
成果・課題 <input type="checkbox"/> Check	(取組成果)		
	人吉市復興まちづくり計画の中で、避難路整備が望まれる路線について、令和4年に「被災地域復興事業導入可能性調査」を実施し、避難路の整備方針、避難路整備候補地や優先度の検討し整備すべき路線を選定。令和5年各路線(22路線)の測量・設計業務を実施。令和6年度は、一部路線で用地測量、建物調査、補償交渉を行い工事実施。		
改善内容 <input type="checkbox"/> Action	(今後の課題)		
	用地取得については、地権者との合意形成が必要になるため、用地取得に難航している。		
	地権者に事業の必要性を理解していただくように戸別訪問を繰り返す行う。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

改善

方向性

実施計画							
成果指標	令和7年度		令和8年度		令和9年度		
	目標値		目標値		目標値		
避難路整備事業進捗状況(改良率)	7.17%		11.25%		18.5%		
事業財源	費目	予算額		予算額		予算額	
	国庫補助金	425,950	千円	345,050	千円	530,250	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	425,950	千円	345,050	千円	530,250	千円
事業費	851,900	千円	690,100	千円	1,060,500	千円	

総合戦略	災害に強く安心して暮らせる地域の形成
市長マニフェスト	豪雨災害の経験等を生かした早期避難対策として、避難路、避難場所等の整備、拡充を進めます。